

いかなる難題にも果敢に挑戦

町議会九月定例会は九月十三日から二十五日まで開かれました。議会初日の十三日、鈴木重男町長は就任のあいさつと町政運営の所信を力強く述べました。今月は所信表明と議決された主な内容をお知らせします。

葛巻の実現へ



町長が所信表明を行った九月定例会

一次産業の発展と魅力的な商店街を

町議会九月定例会の開会に当たり、まちづくりの主要な施策の基本方針について申し上げます。

私は、町の発展の基本は産業の振興にあると確信しております。酪農と林業を従来どおり基幹産業にとらえ、園芸作物等、地域の特色を生かした農業生産や森林整備、地場産材の活用と後継者の育成を図り、地域の資源から生まれる第一次産業のさらなる発展に努めてまいります。

葛巻高存続に全力情報基盤の拡充も

次に、まちづくりは人づくり、クリーンエネルギーの町として地球環境問題への貢献と町民経済の向上に努めます。特に新エネルギーについては、これまでの多様な取り組みを検証し、今後、さらに発展させる施策を検討してまいります。

次に、まちづくりは人づく

夢のある町 住みよい町

信頼される葛巻病院 弱者に優しい町に

町民の命と健康を守るため、保健、福祉、医療の一層の充実に向け各種検診、保健サービス体制及び町中心部の通院バスの利用拡大を図るとともに、町民から信頼される葛巻病院の経営を進めます。子どもを安心して育てる保育・教育など子どもを取り巻く環境の充実に努めるとともに、高齢者が安心して暮らせる町を目指してまいります。

新エネルギー活用で 地球環境問題に貢献

次に環境問題のへ一層の意識の高揚を図り、リサイクルや省エネルギー対策の推進とともに、町の持つ豊かな自然環境、水資源や森林の保全とその資源を生かした新エネルギーの積極的な活用を図

ピンチはチャンス 自立の町目指し挑戦

私は、これまで全てにおいて、「夢しか実現するものはない。問題解決の糸口は必ずある、ピンチは大きく伸びる

チャンス」と考え取り組んできました。今後もこの三つを信条としていかなる難題にも果敢に挑戦してまいります。

自立するまちづくりを目指し、皆さんの声を結集し、自立のための諸改革を実行し、葛巻の明るい未来のために町民の皆様と情報を共有し、一層の信頼関係を保ち、共に歩み続けたいと考えます。夢のある町、住みよい町葛巻の実現のため誠心誠意全力で取り組んでまいります。

副町長に觸澤義美氏



觸澤義美副町長
(58・田子)

【略歴】昭和24年9月20日生まれ。県立沼宮内高等学校卒業。葛巻町商工会、葛巻町農業協同組合を経て昭和45年4月役場入り。総務課活性化対策室長、企画財政課長を務め本年4月から総務企画課長。

教育委員に千葉さん再任

任期満了に伴い教育委員に千葉洋一氏が議会の同意を得て再任されました。



千葉洋一教育委員
(69・茶屋場)

千葉氏は、平成11年10月から同委員を務めており、任期は10月1日から平成23年9月30日までです。

初めての試み

土曜日に議会開催

町議会では9月15日の土曜日、9月定例会の一般質問を行いました。「町民が傍聴しやすいように」と初めての土曜日開催にチャレンジ。「今後は、平日の夜の開催も検討したい」と久保明夫議会運営委員長は意欲を見せます。



所信表明に聞き入る傍聴者

議決された主な内容

空席となっていた副町長に、町の総務企画課長の觸澤義美氏が全会一致で選任されました。

觸澤氏は、10月1日付けで副町長に任命され、任期は平成23年9月30日までです。